



長大な雪渓が続く心字雪。上部は霧に包まれ、幻想的な雰囲気醸し出していた＝遊佐町

本社登山隊ルポ

夏山踏破鳥海

〈第1日〉

猛暑の下界と別世界

山形新聞の登山パーティーが29日、本県と秋田県にまたがる鳥海山（2236㍍）の登山をスタートさせた。初日は酒田市の鳥海山荘近くの登山口から入山。下界の猛暑とは別世界の清涼な雪渓が広がる心字雪（しんじゆ

き）の絶景に息をのんだ。

緑鮮やかなブナ林を抜け、森林限界のため低木が茂る尾根筋へ。豊かな田畑が広がる庄内平野、広大な日本海、出羽の山々の連なりを一望でき、辺りには色とりどりの高山植物が咲き誇

っていた。

標高1550㍍の河原宿小屋から山頂方向を見上げると、斜面に雪渓がへばりつき、時折のぞく青空との対照が見る者の心をつかむ。台風12号の影響による強風に見舞われ、予定ルートを一

部変更。そのまま下山し鶴間池小屋に到着した。

一行は30日、一ノ滝などを経て御浜小屋を目指す。

28面に関連記事